

平成22年度山形県支部総会開催報告

平成22年5月21日(金)、山形県支部総会は、将棋の駒やサッカーJ1「モンテディオ山形」のホームグラウンドのある天童市、天童温泉「ホテル王将」にて開催されました。

当支部の会員数は、昨年より2名増の62名、東北ではトップの会員数ですが、参加者はやや控えめの17名が出席いたしました。同窓会本部からは和田教授にご臨席いただき、総会議案が承認されたところで、大学の近況を詳しく披露していただきました。

和田教授のお話では学部内の学科改組があり、さまざまな分野に対応するようにしているとのことで、立派な大学案内をいただいたが、私たちが在学していた当時とは比べようもない変りようでした。「魅力あるカリキュラムと設備」が重要とのことで授業改善の取り組みも行われているようでした。また、設備の面では、新体育館、新3号館の建設が予定されているとのことで一段と立派なキャンパスになっていることが伺われました。

例年、話題となりますが、出席会員からは地方出身者が多く入学できるような制度にならないものかという話で、同窓会総会においても「卒業生子女入学制度」が取り上げられているとのことでした。幸いにも当県は今年度2名の新入会者を迎えることができ、1名は卒業生子女であり、もう1名は県外出身ですが就職先として当県を選択したとのことでした。当県選択の理由は、学生時代の実習が当県就職へのきっかけになっているとのことから、魅力ある職場作りも人をひきつける重要な要素になるようです。

引き続き懇親会が盛大に開宴いたしました。当然、総会後の懇親会ではニューフェイスが大もてで、先輩諸氏もいつにない張り切りようで、彼女以上に楽しい一夜を過ごされたことと思われます。宴では某会員進呈の高級地酒の芳醇さに酔いしれ、昔の大学の姿に思いをはせながら、諸氏は万歳の発声を迎え、懇親会も無事終了となりました。

最後に、お付き合いいただきました和田先生に感謝申し上げ、稿を閉じたいと思います。

(昭和55年卒 高橋昭一)

